

令和7年度全国学力・学習状況調査 鷹栖町内の状況及び今後の改善方策

○ 教科に関する調査の状況

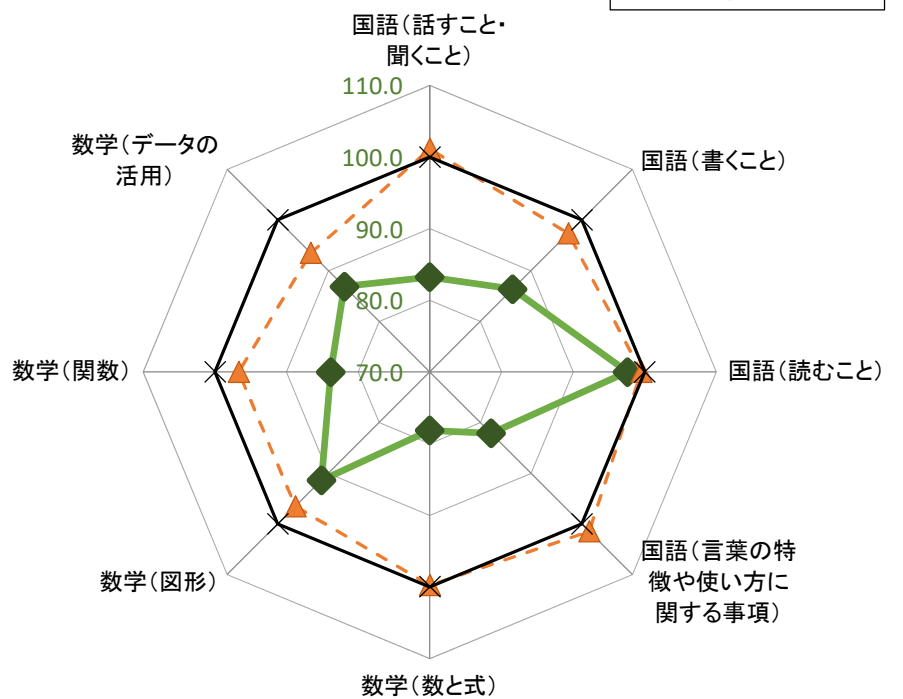
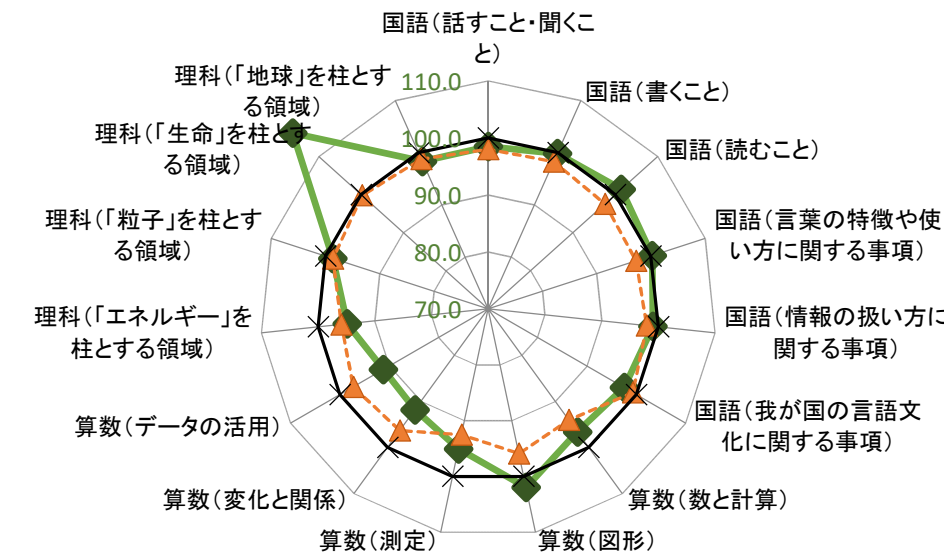
【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

小学校数:2校、児童数:48人 中学校数:1校、生徒数:57人

【平均正答率・平均IRTスコア】 ※中学校理科は平均IRTスコア

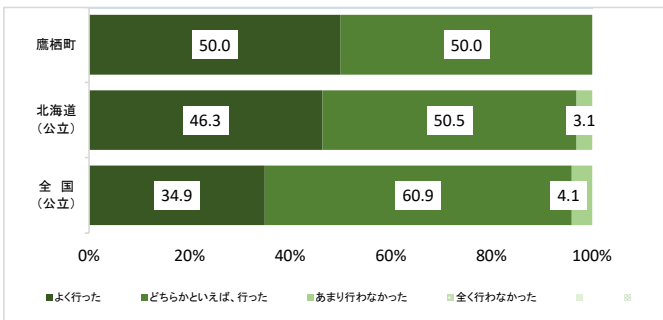
	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
鷹栖町	67	56	58	48	41	468
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503



○ 質問調査の状況

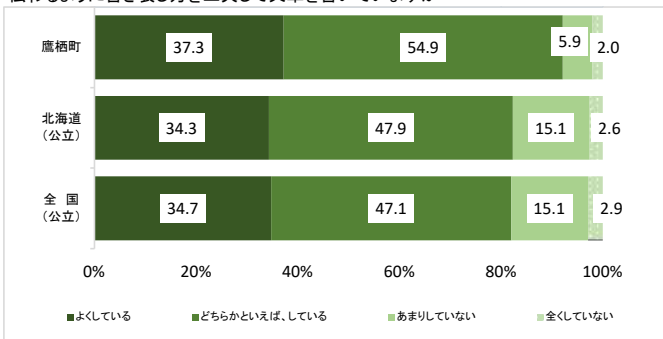
小学校 ＜学校質問＞

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか



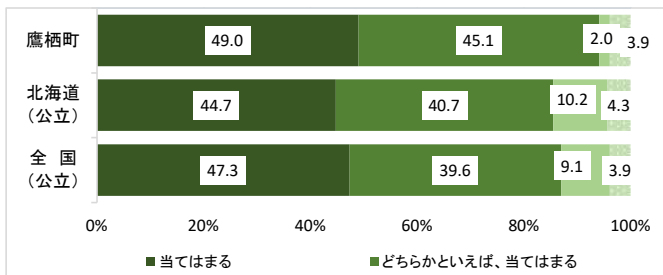
小学校 ＜児童質問＞

国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか



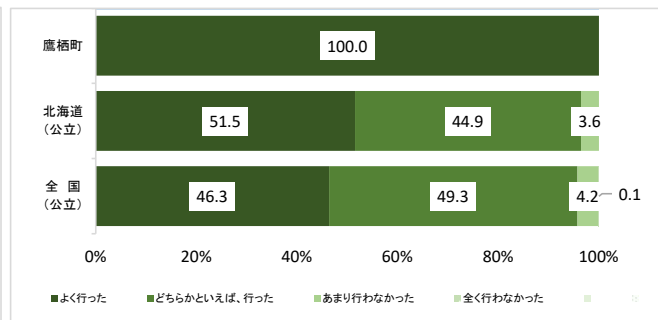
小学校 ＜児童生徒質問＞

自分には、よいところがあると思いますか



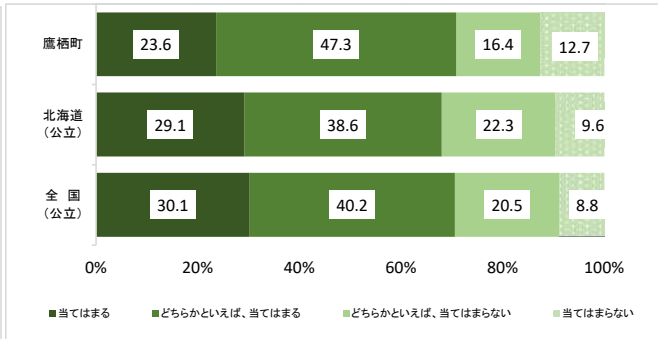
中学校 ＜学校質問＞

調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、生徒に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか



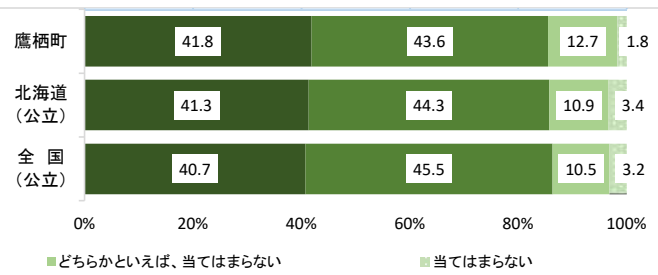
中学校 ＜生徒質問＞

数学の授業の内容はよく分かりますか



中学校

自分には、よいところがあると思いますか



○ 調査結果の分析

- ・小学校において、国語の授業の中で、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができる場面をよく行ったことにより、目的に応じて書いたり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

- ・中学校において、数学の授業の中で、生徒に問題の答えを求めさせるだけでなく、どのように考えてその答えになったのかを筋道を立てて説明させることをよく行ったことにより、授業の内容が分かっていると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

- ・小中学校において、教科等を含め様々な教育活動の中で、児童生徒が主体的に活躍できる多くの場面を設定し、周りから認められたり褒められたりする回数が増え、達成感や自己有用感が高まり、児童生徒質問の自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合が、全国及び全道と同様または上回ったと考えられる。

○ 今後の改善方策

- ・学校・家庭・教育委員会が連携を図り、望ましい学習習慣の確立と家庭学習の内容充実の推進
- ・ICT端末などのICT環境をより活用し、個別最適な学びと協働的な学びを充実させた授業改善の推進
- ・小学校及び中学校におけるフリー教員、教科教員、学習支援員などを効果的に活用した習熟度別指導や少人数指導、TT指導の推進